

令和3年度 日本版MaaS推進・支援事業 12事業について

日本版MaaS推進・支援事業の拡大

- MaaSの社会実装に向けた取組への支援 →12事業 (令和3年度) **NEW!!**
- 地域特性に応じたMaaSの実証実験への支援 →36事業 (令和2年度)
- 全国の牽引役となる先行モデル事業への支援 →19事業 (令和元年度)



令和2年度 36事業	
1.北海道十勝地域	19.静岡県伊豆半島
2.北海道洞爺湖町周辺	20.静岡県浜松市
3.北海道札幌地域	21.愛知県春日井市
4.福島県会津地域	22.三重県菰野町
5.茨城県ひたち圏	23.滋賀県大津市
6.茨城県土浦市	24.京都府京丹後市
7.栃木県宇都宮市	25.京都府京都市
8.群馬県前橋市	26.京都府舞鶴市
9.埼玉県三芳町	27.大阪府池田市
10.神奈川県横浜市中心部	28.兵庫県神戸市
11.神奈川県横須賀市周辺	29.広島県福山市
12.神奈川県三浦半島	30.広島県広島市
13.神奈川県川崎市	31.香川県高松市
14.神奈川県南足柄市	32.愛媛県南予地域・松山市
15.富山県朝日町	33.福岡県糸島市
16.石川県加賀市	34.宮崎県宮崎市・日南市
17.長野県茅野市	35.沖縄県全域
18.静岡県静岡市	36.沖縄県宮古島市

令和元年度 19事業
A.ひがし北海道エリア
B.福島県会津若松市
C.茨城県日立市
D.茨城県つくば市
E.群馬県前橋市
F.神奈川県川崎市・箱根町
G.静岡県伊豆エリア
H.静岡県静岡市
I.三重県菰野町
J.三重県志摩地域
K.大津・比叡山
L.京都府南山城村
M.京丹後地域
N.兵庫県神戸市
O.山陰エリア (島根・鳥取)
P.島根県大田市
Q.広島県庄原市
R.瀬戸内エリア
S.沖縄県八重山地域

令和3年度 12事業	
a.北海道芽室町	g.富山県朝日町
b.群馬県前橋市	h.静岡県静岡市
c.東京都大丸有地区	i.京都府与謝野町
d.山手線周辺/横須賀市	j.宮崎県
e.川崎市、箱根町	k.沖縄県
f.神奈川県三浦半島	l.沖縄県宮古島市

※下線部3事業はR3年度新規

※下線部25事業はR2年度新規

各事業の取組概要

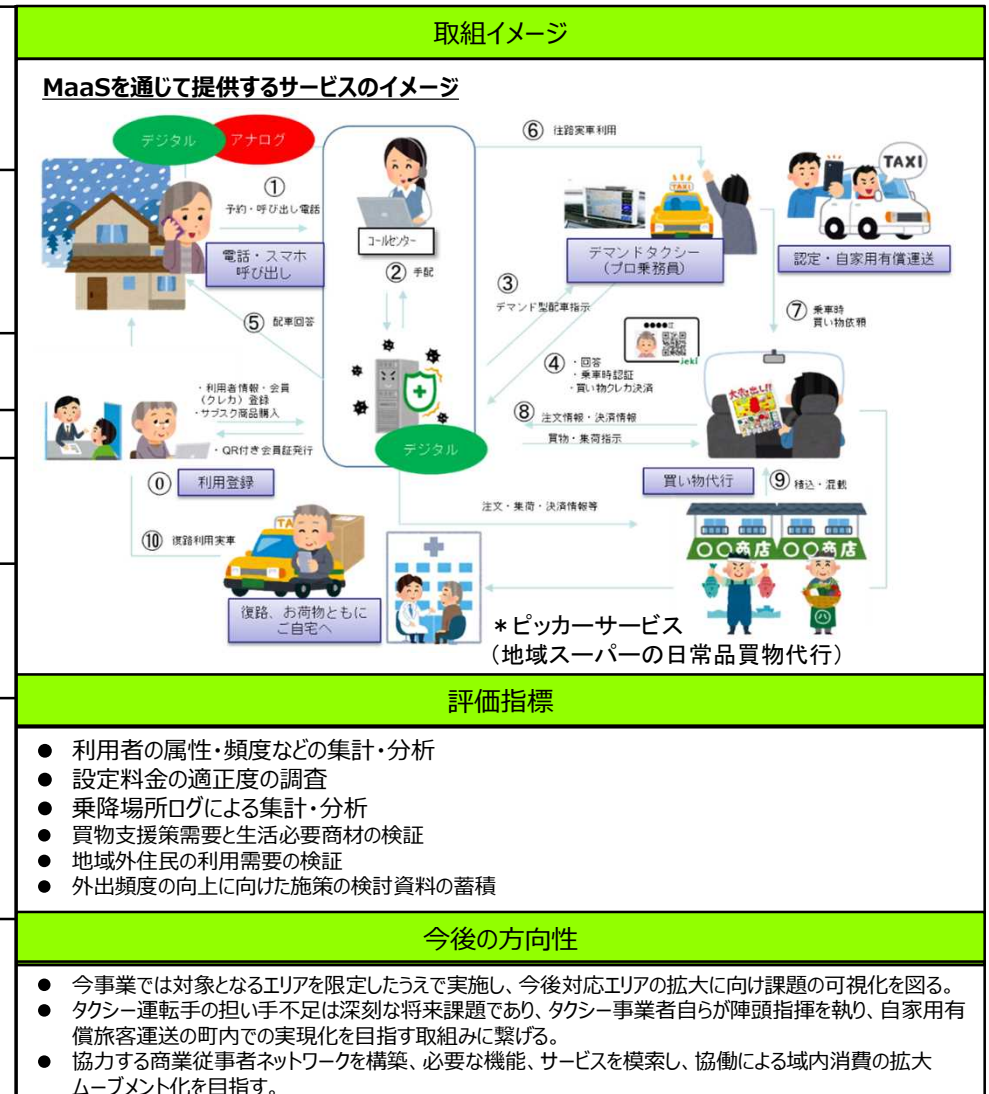
※公募申請時の資料のため、今後、変更の可能性があります。

高齢者〈過疎〉に優しい共生・支援型 芽室MaaS事業

(事業の概要を記載)

高齢化が進む農業地域居住者の市街地への移動と買物を支援する為、新たなサブスクリプション型乗合デマンドタクシーを導入するとともに、商業従事者との連携を図る。

協議会の 構成員	【幹事】芽室町、NPO法人上美生、(株)ジェイアル東日本企画、 有限会社こばとハイヤー、芽室町商工会、(株)電脳交通、芽室町農業協同組 合、芽室消費者協会、芽室町市街地町内会連合会、芽室町民生委員児 童委員協議会、育児ネットめむろ、国土交通省北海道運輸支局、十勝総 合振興局	
地域 課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 農村地区の過疎、高齢化 ● 域内学生（高校生）の通学 ● 公共交通（路線バス、鉄道）の不足 ● タクシー乗務員の成り手、担い手不足 ● 公共交通の不足による買物難民化 	
事業 概要	サービス 開始時期	2022年1月
	エリア	芽室町上美生地区
	MaaS システム	WEBサービスと電話によるデマンド予約、買い物支援サービス 注文機能、及び、タクシー車内での買物発注機能を独自に開 発、提供
	交通 サービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 乗合型オンデマンド交通の運行 ● 上記予約・決済機能の提供（高齢者向けに電話による オペレーションコールセンターを構築） ● サブスクリプション型の運賃形態でのサービス提供
交通以外 のサービス	<ul style="list-style-type: none"> ● ドライバーと商業施設との連携による、買い物代行と復路 車両へ荷物の混載による買物支援サービスの提供 ● 米ホールフーズ型新商品購入サービス（ピッカー）をアレ ンジした従来にないデリバリーシステム・サービスの提供 ● 交通及び買物を便利にするキャッシュレスサービスの提供 ● 病院等特定目的地における予約代行システムの開発と提 供 	
事業 目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢化、過疎化が進む農村地区住民の移動手段の確保 ● 公共交通空白地における公共交通サービスの実現に向けた需要及び ニーズ調査の実施 ● 商業従事者を始めとした、地域住民による協働の交通サービス化（「権 利能力なき社団」による自家用有償旅客運送）を目指す為の検証 	



MaeMaaS(前橋版MaaS)社会実装事業

これまでの実証事業からの継続した取り組みとして、地域公共交通の利便性向上及びMaeMaaSの社会実装のため実施する。これまでの実証における課題である、わかりやすい利用方法、わかりやすい情報案内に対して、対面での利用登録窓口システムの構築、多様な交通モードを網羅するリアルタイム経路検索を提供。引き続きマイナンバーカード認証基盤と連携し、利用者属性情報による割引等の運賃施策を実施し、MaaS環境の構築による市民の公共交通に対する意識変容、社会受容性、実運用に向けた社会実装モデルの検証を行う。

協議会の構成員	【幹事(事務局)】前橋市 東日本旅客鉄道株式会社、一般社団法人ICTまちづくり共通プラットフォーム推進機構、株式会社NTTデータ、株式会社未来シェア、株式会社NTTドコモ群馬支店、国立大学法人群馬大学、ecobike株式会社、上毛電気鉄道株式会社、一般社団法人群馬県バス協会、前橋地区タクシー協議会	
地域課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共交通の維持のための市の財政負担の増加 ● 高齢運転者による交通事故の増加 ● 交通空白地域の住民の外出機会の減少 	
事業概要	サービス開始時期	2021年9月頃
	エリア	群馬県前橋市全域
	MaaSシステム	JR東日本が提供するMaaSプラットフォーム「モビリティ・リングージ・プラットフォーム」を活用し前橋版MaaS「MaeMaaS(マイマース)」としてwebサービスを提供。
	交通サービス	<ul style="list-style-type: none"> ● オープンデータを活用したリアルタイム経路検索の提供 ● 経路検索は、バスロケ・シェアサイクル・デマンド交通等の多様な交通モードに対応 ● デマンド交通「るんるんバス」「ふるさとバス」「城南あおぞら号」の予約をMaeMaaSにより一元化 ● デジタルフリーパスの販売 ● マイナンバーカード認証基盤と連携し、市民認証による前橋市民割引の提供 ● 会員登録・利用手法のシステム改善による簡易化。対面登録システムを構築。市役所・駅等にサービス窓口を設置。 ● 介護車両共通プラットフォームとの連携。既存公共交通との利用者の棲み分けを明確に定義し、共存環境を構築
交通以外のサービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の観光施設や飲食店の検索機能の提供 ● 路線バスのデジタルフリーパス購入者への店舗等の特典の付与 	
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 前橋市が取り組んでいる交通再編を有効化し公共交通の利用者数増加に繋がるサービスとすべく検証を実施する。 ● 多様な交通モードが入り混じる前橋市において、各交通情報を一括して提供。わかりやすい情報案内環境を構築し、公共交通の利用促進とする。 	

取組イメージ

MaaSを通じて提供するサービスのイメージ

評価指標

- リアルタイム経路検索の利用回数 5000回
- 会員登録数 2500人
- マイナンバーカード認証連携登録者数 200人
- MaaSサービスの利用者総合満足度 70%

※サービスデータ管理画面及びアンケートにより実績を取得。

今後の方向性

- 移動データ等の取得・連携・利活用の手法を確立させるための公共交通共通プラットフォームとして整備
- 利用者が使いやすいシステム・環境の構築。公共交通そのものを便利に使えるようICTを活用
- 複合的なデータ連携により新たなサービスを提供
- 取得データを可視化するデータ分析基盤を構築

大丸有版MaaS事業

多種多様なモビリティ及び、目的地となる商業店舗やワークスペースなどが多数存在する大丸有地区において、交通手段を含めた人の一連の行動データを連携させ、エリアサービスと一貫したハーフマイル移動の支援を行うとともに、情報提供により誘発される行動変容について分析し、さらに魅力的なラストハーフマイルエリアを目指す。

構成員	大手町・丸の内・有楽町地区スマートシティ推進コンソーシアム、株式会社 MaaS Tech Japan 【幹事】一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会、株式会社 MaaS Tech Japan 【主なモビリティWGメンバー】 BOLDLY株式会社、東京地下鉄株式会社、日の丸自動車興業株式会社、株式会社Luup、株式会社ドコモ・バイクシェア	
地域課題	<ul style="list-style-type: none"> 「大手町・丸の内・有楽町地区スマートシティビジョン・実行計画」において、スマートシティ化により最適化すべき課題を「区域の発展的課題」として定めている。ここで求める日常・非日常におけるエリアのポテンシャルの拡大・レジリエンスの増強を多様なモビリティサービス提供を軸に解決する。 現在は、エリア内外の交通事業者の運行データ、混雑データや移動者の移動実態のデータを統合的に把握する手段がなく発展的課題解決のために、それらを踏まえた情報案内、施策分析・評価のできるツールが必要。 	
事業概要	サービス開始時期	2021年12月予定
	エリア	大手町・丸の内・有楽町地区（大丸有地区）
	MaaSシステム	<ul style="list-style-type: none"> 交通情報の統合データ基盤の構築 交通情報を可視化する案内ダッシュボードの構築 エリマネ運営ツールとしての評価・分析ダッシュボードの構築 実証実験アプリ(既存)のMaaSアプリ機能の付加
	交通サービス	<ul style="list-style-type: none"> エリア内循環バス パーソナルモビリティ 鉄道等
	交通以外のサービス	<ul style="list-style-type: none"> 大丸有エリアで構築を進めている「大丸有版都市OS」と連携し、エリア内の情報についても連携を行う予定
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> 大丸有エリアにおける交通データ（運行データや移動実態データ）を統合する交通情報の統合データ基盤の導入とモビリティ情報の提供を行う MaaSアプリにより、上記モビリティ情報に加え、周辺エリアの情報を提供するサービスと一貫したハーフマイル移動の支援を行う 誘発される行動変容について分析するツール(評価・分析ダッシュボード)を整備し、分析結果を踏まえたリアルなまちへのフィードバックにより、大丸有エリアにおける魅力的なラストハーフマイルエリアの実現を目指す 	

取組イメージ

MaaSを通じて提供するサービスのイメージ

評価指標

- 案内ダッシュボードやMaaSアプリを通じてエリアの交通情報の案内を行い、ダッシュボードの利用数（アクセス数）を取得
- 店舗クーポン等、連携するモビリティ以外のデータの利用回数をアプリから取得
- 同時に、利用者アンケートでサービスの満足度や行動変容（交通手段の選択や店舗への立ち寄り）につながった割合を取得

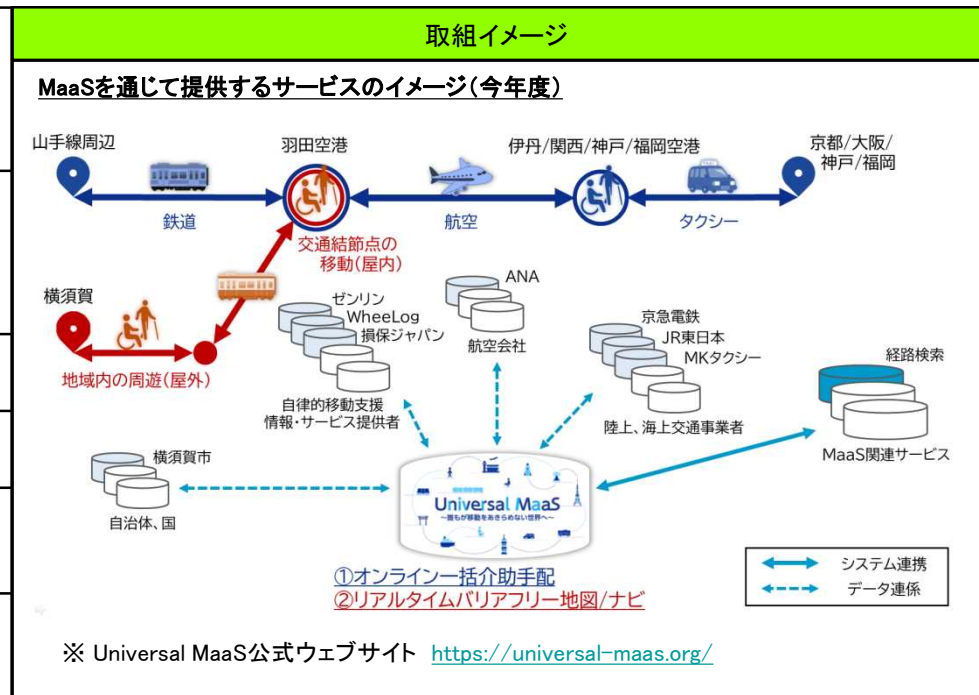
今後の方向性

- 本事業の成果を踏まえながら、MaaSに特化した評価・分析ダッシュボードと、従来より大丸有スマートシティとして目指す「エリマネ・運営ツール」とのダッシュボード間の連携・標準化の知見を得ることで、大丸有エリアで目指すエリマネDXを持続的に継続していく。
- 交通データのほか、施設データなどの他分野のデータを利活用し、エリアの個人・企業向けサービスやエリマネを高度化するエリア管理者向けサービスの構築を進める

Universal MaaS～誰もが移動をあきらめない世界へ～

移動躊躇層(※)が抱えている課題を、Universal MaaSのコンセプトに従って利用者と事業者双方の視点から解決し、行動変容を促すことにより新たな移動需要を喚起する。2020年度の実証実験結果を踏まえ、順次社会実装を進める。
 ※何らかの理由により移動を躊躇している方々。2021年度は下肢障がいに加え視覚障がいを抱えている方々も対象に実施。

協議会の構成員	【構成員】 全日本空輸(幹事)、京浜急行電鉄、横須賀市、横浜国立大学 【実証実験パートナー】 東日本旅客鉄道、MKタクシー、損害保険ジャパン、Ashirase、LOOVIC 他、右記URLの数十社を予定 https://universal-maas.org/partner	
	地域課題	介助やサポートを必要としている利用者への対応が、自治体・地域や事業者ごとに大きく異なっており、また各交通事業者や施設管理者との連携方法が定まっていないため、移動躊躇層における自律的なdoor-to-door移動が不便(全国的な課題ではあるが、まずは特定の利用者、自治体・地域、事業者に対象を絞って課題解決を行う)
事業概要	サービス開始時期	2022年度中のサービス開始を目指す。 (今年度の実証実験結果により決定)
	エリア	①山手線周辺⇄羽田⇄ANA便⇄京都/大阪/神戸/福岡 ②横須賀市内⇄京急線⇄羽田空港T1/T2駅
	MaaSシステム	既存の経路検索サービスに以下機能を実装 ①オンライン一括介助手配機能 ②リアルタイムバリアフリー地図/ナビ機能
	交通サービス	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通領域だけでなく、地域内の周遊や交通結節点の移動も含めたdoor to doorナビの提供 自分に合ったルートを選択・保存し、旅程管理や介助手配状況の確認を可能とする情報・機能の提供 介助を必要とする利用者が支援内容を事業者に依頼し、事業者が回答するコミュニケーション機能の提供 バリアフリー/ユニバーサル関連の移動手段との連携
	交通以外のサービス	<ul style="list-style-type: none"> バリアフリー/ユニバーサルデザインに関連した移動支援サービスとの連携 バリアフリー関連アプリとのAPI連携(地図・ナビ機能) 自律移動支援サービスや支援機能との連携 その他サービス、機能との連携(以下参照) https://universal-maas.org/partner
事業目的	利用者および自治体や地域、事業者双方の視点から、移動躊躇層における課題解決を行い、行動変容を促すことにより新たな移動需要を喚起する。	



評価指標

- [指標]a:提供サービスに対する利用者満足度
b:経路検索サービスの行程(+利用者のバッファ時間)通りに移動できた確率
c:自律的移動支援サービス・機能における目的地到達率
- [目標]a:75%以上の利用者が5段階中上位2位以内の回答/b,c:75%以上が予定通り到着
- [測定方法]利用実績ログ、アンケート、ヒアリング等を活用

今後の方向性

- オンライン一括介助手配機能:
⇒対象事業者、対象エリア拡大。一括予約や決済、マイナンバーカードとの連携も検討。
- リアルタイムバリアフリー地図/ナビ機能:
⇒対象者、対象エリア拡大。ユニバーサル地図/ナビが最終ゴール。

川崎・箱根観光MaaS実証実験

道路混雑や駐車場入庫待ち渋滞の緩和・解消、カーボンニュートラル実現にむけたCO2排出量削減を図るための、近場のお出かけスポット・観光地への来訪促進及び来訪時の公共交通利用促進を目的とし、公共交通の乗車券購入・改札通過用コード表示、特急列車・バス予約、及び観光施設等の利用券の購入等の機能を、MaaSシステム「EMot」でワンストップで提供

協議会の 構成員	川崎市、箱根町、 小田急電鉄株式会社（事務局）、小田急箱根ホールディングス株式会社		<p style="text-align: center;">取組イメージ</p> <p style="text-align: center;">MaaSを通じて提供するサービスのイメージ</p>		
地域 課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 近場のお出かけスポット・観光地における、自家用車来訪者の集中による、道路混雑、駐車場入庫待ち渋滞の発生 ● 新型コロナウイルス感染症対策に対応した快適な移手段の提供 				
事業 概要	サービス 開始時期	2021年10月	<p>● デジタルフリーパス提供 携帯端末上で表示する2次元コードを用いて鉄道改札が通過可能</p> <p>● 特急列車・バス予約機能 小田急線の特急ロマンスカー、箱根エリア内の定員制特急バスの予約が可能</p> <p>● お出かけに便利な電子チケット提供 観光施設等の入場券と路線バス等の電子チケットを提供</p> <p>● データ分析結果の活用 データを分析し今後の取組に活用</p>		
	エリア	神奈川県川崎市、神奈川県箱根町			
	MaaS システム	スマートフォン向けアプリ EMot ウェブブラウザ向けサービス EMotオンラインチケット			
	交通 サービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 鉄道（携帯端末上の2次元コードで改札通過可能、特急列車の座席予約・特急券購入が可能） ● 定員制特急バス（予約・購入可能） ● ケーブルカー（電子チケットで乗車可） ● 路線バス（電子チケットで乗車可） ● ロープウェイ（電子チケットで乗車可） ● 観光船（電子チケットで乗車可） ● シェアサイクル（検索で表示、アプリ間遷移で手配） ● タクシー（検索で表示、アプリ間遷移で手配） 			
交通以外 のサービス	<p>MaaSシステム（アプリ・ウェブサービス上）において、交通サービスと一体的に以下の電子チケットを提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 観光施設等の入場券 ● 温泉施設の利用券 ● 飲食店における割引優待券、引換券等 		<p style="text-align: center;">評価指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 評価指標 1：デジタルフリーパス等の電子チケット販売枚数（目標：合計10,000件） * EMotの管理システムでリアルタイムで計測し関係者と共有 ● 評価指標 2：自家用車利用と比較検討の上で利用した方の継続利用意向（80%以上） * 計測方法：購入者を対象にしたアンケート調査 		
事業 目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 近場のお出かけスポット・観光地への来訪時の公共交通利用促進 ● 公共交通利用時の予約・決済・改札通過のシームレス化や座席指定制サービスの拡充を、通じた、近場のお出かけスポット・観光地への来訪促進 		<p style="text-align: center;">今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ● デジタルフリーパス等の電子チケットは、事業期間中の状況を考慮した改善策等を講じつつ、期間後も継続して販売を想定 ● サービス利用者のチケット利用状況や、アプリから取得できるデータを分析し、今後のMaaSの取組やスマートシティ関連のその他の取組に活用することを目指す 		

観光型MaaS「三浦Cocoon」の実装による分散化・混雑回避事業

(事業の概要を記載)

観光型MaaS「三浦Cocoon」と「観光ナビ」を連携させ、風光明媚なスポットや施設を巡る観光ルートを生設計・発信することで、渋滞の解消など社会課題の解決を図る。同時にモビリティ基盤も整備することで三浦半島の観光周遊化を実現する

<p>協議会の 構成員</p>	<p>観光型MaaS三浦Cocoon推進協議会 京浜急行電鉄株式会社(幹事社)、株式会社アイシン、株式会社サンオータス、みうらレンタサイクル運営協議会、scheme verge株式会社、ジョルダン株式会社、横須賀市、三浦市</p>	<p>観光型MaaS「三浦Cocoon」と「観光ナビ」連携によるサービスイメージ</p>										
<p>地域 課題</p>	<p>【課題①】特定エリアやルートへの集中による渋滞や密集 特定幹線道路への集中や駐車場不足で渋滞が慢性化しているうえ、各所で旅客密集も発生しており、ルートや時期の分散、感染拡大配慮が必要 【課題②】観光情報不足による消費機会ロス 「よこすか満喫きっぷ」等で多くの観光客が訪れるが、飲食後の滞在コンテンツや交通手段がわからずそのまま帰宅してしまうため、機会損失が生じている。 【課題③】観光拠点を回遊するためのモビリティ整備の必要性 点在する自然環境や店舗施設などを回遊する2次交通拠点が不足</p>											
<p>事業 概要</p>	<table border="1"> <tr> <td>サービス開始時期</td> <td>2021年12月</td> </tr> <tr> <td>エリア</td> <td>横須賀市、三浦市エリア ※三浦CocoonFamilyには、鎌倉市/逗子市/葉山町も参加</td> </tr> <tr> <td>MaaSシステム</td> <td>①観光型MaaS「三浦Cocoon」 ②アイシン「観光ナビ」</td> </tr> <tr> <td>交通サービス</td> <td>「Cocoonモビリティパッケージ」 鉄道、バス、タクシー、カーシェア、レンタサイクル、電動キックボード、キャンピングカー、ヘリなど</td> </tr> <tr> <td>交通以外のサービス</td> <td>「三浦CocoonFamily」参加各団体(2021年7月時点88団体) ※三浦Cocoon Familyに参加している自治体、観光協会、アクティビティ事業者、サポート企業、京急グループ施設 等</td> </tr> </table>	サービス開始時期	2021年12月	エリア	横須賀市、三浦市エリア ※三浦CocoonFamilyには、鎌倉市/逗子市/葉山町も参加	MaaSシステム	①観光型MaaS「三浦Cocoon」 ②アイシン「観光ナビ」	交通サービス	「Cocoonモビリティパッケージ」 鉄道、バス、タクシー、カーシェア、レンタサイクル、電動キックボード、キャンピングカー、ヘリなど	交通以外のサービス	「三浦CocoonFamily」参加各団体(2021年7月時点88団体) ※三浦Cocoon Familyに参加している自治体、観光協会、アクティビティ事業者、サポート企業、京急グループ施設 等	
サービス開始時期	2021年12月											
エリア	横須賀市、三浦市エリア ※三浦CocoonFamilyには、鎌倉市/逗子市/葉山町も参加											
MaaSシステム	①観光型MaaS「三浦Cocoon」 ②アイシン「観光ナビ」											
交通サービス	「Cocoonモビリティパッケージ」 鉄道、バス、タクシー、カーシェア、レンタサイクル、電動キックボード、キャンピングカー、ヘリなど											
交通以外のサービス	「三浦CocoonFamily」参加各団体(2021年7月時点88団体) ※三浦Cocoon Familyに参加している自治体、観光協会、アクティビティ事業者、サポート企業、京急グループ施設 等											
<p>事業 目的</p>	<p>【事業①】「観光ナビ」による行動変容(混雑回避と周遊化) 事前に回遊してもらいたいルートを作成し、旅客の行動変容を促すことで、渋滞の解消や観光消費の拡大など、社会課題の解決を達成する。 【事業②】観光型MaaSとのシステム連携による消費拡大 「よこすか満喫きっぷ」デジタルチケット化など観光型MaaS「三浦Cocoon」と連携した観光案内を展開、地域事業者が相互に利用客に対してリコメンド、集客することにより回遊を促進し、滞在時間と観光消費拡大を目指す。 【事業③】事業者連携で2次交通基盤を整備 「Cocoonモビリティパッケージ」として11事業者が共同で拠点開発を行うことで、公共交通へのシフトやCO2排出の抑制も実現する。</p>	<p>評価指標</p>										
		<p>評価指標、目標、測定方法などを記載</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 三浦Cocoonサイトアクセス数: 45,000セッション ● 観光ナビ利用回数: 1,000回 ● 総合満足度: 80%以上 										
		<p>今後の方向性</p>										
		<ul style="list-style-type: none"> ● 「よこすか満喫きっぷ」に続き、「みさきまぐろきっぷ」、「葉山女子旅きっぷ」の常設デジタルチケット化を実現し、さらなる付加価値拡大を目指す。 ● 観光型MaaS「三浦Cocoon」の機能拡充を進め利用拡大を図る。 ● 観光領域での実績拡大を活かし、都市型、沿線型といった生活領域へのMaaS基盤拡大 ● 最終的には、MaaSレベル4(社会目標の統合)を実現し、データに基づくまちづくりとエリアマネジメントを目指す。 										

マチ活性化と健康増進を目指し、 地域ポイントとLINEを活用した地域生活者向けMaaS実証実験

公共交通（コミュニティバス・タクシー・地域住民主導の自家用有償旅客サービス）に関するサービス、商業・健康づくり情報を提供し、かつ、地域で使えるポイント（きときとポイント）も貯まるMaaSプラットフォームをLINEを活用し構築。公共交通利用者だけでなく、マイカー利用者も使えるサービスにし、地域全体の移動総量を増やし、マチ活性/健康増進に繋げる。

協議会の 構成員	【幹事】(株)博報堂、富山県朝日町、(有)黒東自動車商会、スズキ(株)、(株)スズキ自販富山、(株)システムオリジン		<p style="text-align: center;">取組イメージ</p>
地域 課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢化率が高く、自家用車を運転できない住民が増えており、持続可能な形で公共交通を整備するとともに、健康増進に繋げるためにも、移動しやすい・移動したくなる街づくりが必要 		
事業 概要	サービス 開始時期	2022年1月(予定)	<p style="text-align: center;">あさひまちMaaS LINEプラットフォーム</p>
	エリア	富山県朝日町	
	MaaS システム	朝日町専用MaaSサービスLINEアカウントを独自に構築	
交通 サービス	交通 サービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域住民のマイカーを活用した自家用有償旅客サービス「ノッカルあさひまち」の提供 ● 「ノッカルあさひまち」の配車予約機能の提供 ● 「ノッカルあさひまち」や「あさひまちバス」、タクシーの運行情報・時刻表の配信 ● タクシーの配車予約機能の提供 ● 路線バスのリアルタイム位置情報の配信 	
	交通以外 のサービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域ポイント（きときとポイント）サービスの提供 ● マイカー利用者向けのドライバー支援サービス（運転診断） ● おすすめの買物・食事・体験等外出情報の配信 ● 商業施設等のデジタルクーポン配信 ● 地域の健康教室情報の配信 	
事業 目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域ポイント制度と、施設・特典・健康情報の配信による、公共交通利用者数の増加/地域住民の移動総量の増加/健康増進効果に対する検証 ● 「移動」を核とした全世代向けのMaaSサービスの実用性と受容性の検証 		<p style="text-align: center;">評価指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 町内の移動総量を、公共交通利用データ・アンケート・Beaconデータなどにより分析 ● 高齢者の健康増進への影響を、健康スコア・歩数・アンケートなどにより検証 ● マイカー利用者の移動手段の変化・運転スコアの変化を分析
<p style="text-align: center;">今後の方向性</p>			<ul style="list-style-type: none"> ● MaaSサービスの受容性・移動総量増加への有効性が検証できた後、ビジネスモデル・事業性を検証 ● 商業活性のための、移動と消費をセットに考えた施策を考案 ● 高齢者の健康増進のための、移動と健康をセットに考えた施策を考案

令和3年度 静岡型MaaS基幹事業実証実験

中山間地域にて「地域の資源を総動員した誰にでも使いやすい交通運行実験」を実施し生活支援サービスとの連携による地域住民の活動増進とコミュニティ形成を目指す。また、市街地域にて「静鉄電車沿線の活性化及び運賃収入回復・混雑平準化に向けたOne to oneクーポン配布実験」を実施し、まちなかでの賑わい増進、鉄道利用回復、混雑平準化を狙う。以上の取り組みを通じて、地方移住の推進に向けた移動サービスの持続性と利便性の両立を目指す。

協議会の 構成員	【幹事】静岡鉄道(株)、静岡市、商業組合静岡県タクシー協会、富士山清水港クルーズ(株)、静岡市社会福祉協議会、静岡商工会議所、(公財)すが企画観光局、(株)静岡銀行		取組イメージ	
地域 課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 中山間地域：地域コミュニティの維持・強化、高齢者の移動手段確保・外出機会の創出、デジタル社会に対応できる環境の構築、地域の持続に資する交流促進・関係人口の増加、地域公共交通の再編の推進 ● 市街地域：都心と駅周辺商店街等への来訪促進・賑わいの創出、鉄道の利用回復と混雑平準化 		<p style="text-align: center;">MaaSを通じて提供するサービスのイメージ</p>  <p>●地域住民を運転手とし、地域在宥の福祉車両を活用した地元参加型の無償AIオンデマンド運行</p> <p>●スマホ・タブレット・電話等で簡単に予約できる</p> <p>●生活支援サービス等のコンテンツの創出と移動サービスの連携</p> <p>①地域の資源を総動員した誰にでも使いやすい交通運行実験</p> <p>②静鉄電車沿線の活性化及び運賃収入回復・混雑平準化に向けたOne to oneクーポン配布実験</p> <p>●ビーコン受信やLuLuCaカードリーダーへのタッチで、予め登録しておいたLINEにクーポン配布</p> <p>●アルゴリズム（因果推論AI）に基づいた処理を行い、混雑時間帯や個人の属性に応じた商業クーポンを配布</p>	
事業 概要	サービス 開始時期	2021年11月	評価指標	
	エリア	静岡県静岡市玉川地区（中山間地域）および静鉄電車沿線地域	【中山間地域】	【市街地域】
	MaaS システム	EMot（小田急電鉄株）を利用		
交通 サービス	<p>【中山間地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域住民参加型の無償AIオンデマンド交通運行（地域住民によるドライバー、遊休福祉車両活用） ● タブレットを活用し、デジタル機器に馴染みがない人でも簡単にAIオンデマンド交通を予約できる機能 		【中山間地域】	【市街地域】
交通以外 のサービス	<p>【中山間地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 生活支援サービス（スマートグラスを活用した遠隔買い物支援等）や来訪者等向けのコンテンツ（縁側カフェ等の地域イベント等）の創出と交通サービスの連携 <p>【市街地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 鉄道利用時間帯や個人特性に応じたクーポン配付（因果推論AIの活用） 			
事業 目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 中山間地域：地域住民の活動増進と共にデジタルデバイドの解消を狙う。また取得したデータを、持続可能な中山間地の地域交通のモデル検討に活用し、今後の他地域への展開、交通再編を図るほか、デジタル技術を活用した中山間地における住環境改善につなげていく。 ● 市街地域：まちなかでの店舗利用増加、鉄道利用増加、鉄道利用時間帯の変更等の行動変容を狙う。 		今後の方向性	
			● 実験結果等も踏まえながら、地域住民とワークショップ等によるコミュニケーションを図りながら、新たな移動サービスの構築に向けて継続して取組んでいく。	● 実験で収集したAIオンデマンドの利用データ等を基に、中山間地における地域交通のモデルを検討し、そのモデルを他の中山間地域に順次展開していくことで、運行非効率な路線バス網の再編に継承し、静岡市公共交通の最適化を目指す。

京都北部地域におけるMaaS実証事業

- ・地方都市における生活交通の確保を目的として、地域のあらゆる移動ニーズの集積を行い、アプリ上で公共交通とAIオンデマンド交通を複合した社会システム(MaaS)を創ることで、地域の移動総量を拡大し地域課題の解決を図る。
- ・具体的には、生活エリア内を自由に移動できるサービスと、エリア外の主要な施設を結ぶAIオンデマンド交通に、公共交通を組み合わせることで、マイカーと同等以上の魅力的な交通サービスを構築することで、マイカーが無くても自由にお出かけができるまちを目指す。

協議会の 構成員	WILLER株式会社、WILLERS PTE.LTD.、WILLER TRAINS(株)、 京都府、与謝野町	
地域 課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 地元の交通課題としては地域交通が低密度であり、かつ目的地へダイレクトに行ける交通が少ない。また公共交通が運行している場所でも、便数が少なく、住民がダイヤに合わせて行動する必要があり利便性が低い。 ● 人口減少及び新型コロナによる影響での地域公共交通の利用者減少・ドライバー不足が課題として挙げられ、今後の地域公共交通を維持する仕組み作りが求められている。 	
事業 概要	サービス 開始時期	2021年11月～2022年1月（予定）
	エリア	与謝野町野田川・加悦エリア
	MaaS システム	MaaSアプリ「WILLER mobi」を使用
	交通 サービス	<ul style="list-style-type: none"> ● エリア内を自由に乗降可能なAIオンデマンド交通の導入 ● エリア外の主要施設への移動が可能となる事前予約型AIオンデマンド交通の導入 ● 同アプリ内でのエリア内・エリア外2地点間移動の同時検索が可能 ● 鉄道や路線バス、「WILLER mobi」等の複合経路検索機能の提供 ● アプリや架電でのAIオンデマンド交通「WILLER mobi」の配車予約・決済機能の提供 ● 鉄道利用でのQRコード決済を導入
交通以外 のサービス	<ul style="list-style-type: none"> ● mobi利用者に向けた、提携店舗で利用可能なクーポンの機能の提供を通じた、店舗誘客施策の連携 ● 提携店舗利用者の移動データを通じた店舗営業施策との連携。 	
事業 目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 与謝野町において、新たなモビリティサービスによる地域の交通課題解決に向けたモデル構築を推進することを目的とする。 	

取組イメージ

MaaSを通じて提供するサービスのイメージ

- ・エリア内を自由に乗降可能なリアルタイムオンデマンド
- ・Aエリア外の主要施設への移動が可能となるルート型オンデマンド

目的地までらくらく移動
ちよい乗りサービス「WILLER mobi」

約10分でお迎え
約2kmの生活圏内
何度でも乗り放題!

行きたい時に行きたいところへ!

評価指標

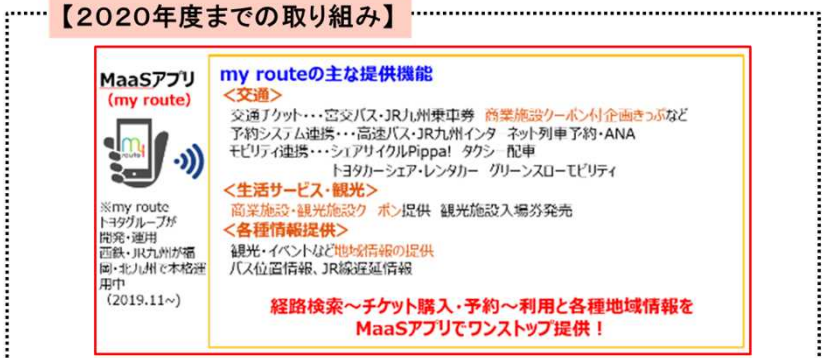
- AIオンデマンド交通の提供による交通の利便性向上の検証（外出するストレスを減らす）
- マイカーからオンデマンド交通へのシフト（家庭にある2台目の車を減らす）
- 地域住民の外出頻度の増加の検証（新たな体験が増えた、生活スタイルの創造）
- MaaSサービスの満足度の検証

今後の方向性

- 生活利用中心から、ワーケーション、旅行者の交通の不便さを解消（交流を生みだすまちへ）
- 複数の交通モードと、商業、観光、福祉、医療、とのデータ連携による一体的なサービス提供
- 生活交通と地域電力のエネルギーマネジメントによる低炭素社会の実現
- 京都丹後鉄道沿線地域への横展開及び、日本全国での展開（複数地域共通利用）
- ASEAN諸国の交通課題（渋滞・安全）を解決するサービスの展開

宮崎県MaaS事業

昨年度実証実験を実施した取り組みを、シームレスで持続可能な公共交通サービスの提供に向け、事業者の枠を超えた**ハード面の整備と、MaaSを活用したソフト面の整備を融合**させた、地域でのMaaSを更に実装フェーズに昇華させるための取り組みを実施する。**デジタルチケットの有効性判定の自動化、ならびに利用データ取得に向けたQRコードの活用**という実装時に必要となる取り組みを主な内容として実施する。

協議会の 構成員	【幹事】宮崎交通(株)、九州旅客鉄道(株)、西日本鉄道(株)、全日本空輸(株)、トヨタ自動車(株)、宮崎トヨタ自動車(株)、宮交ホールディングス(株)、宮交タクシー(株)、宮崎県、宮崎市、日南市、宮崎県観光協会、宮崎市観光協会、日南市観光協会、九州運輸局、宮崎河川国道事務所、宮崎運輸支局、宮崎大学、九州観光推進機構		取組イメージ
地域 課題	<ul style="list-style-type: none"> ● ソフト面だけでなく、フィジカル面も含めた持続可能な公共交通ネットワークの構築 ● アプリを通じた利用実績データの取得と利活用 		
事業 概要	サービス開始時期	2021年10月～	
	エリア	宮崎県宮崎市・日南市・高鍋町・木城町およびその近郊	
	MaaSシステム	トヨタグループが提供するMaaSアプリ「my route」を利用	
	交通サービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通モード間のフィジカルな結節とMaaSの融合 ● 乗換利便性向上に向けた駅の構内改良 ● 乗り継ぎで利用しやすいダイヤの設定 ● 結節駅までのバスのデジタルチケットと結節駅からの鉄道に乗り可能なデジタルチケットの設定 ● QRコードを活用した利用データ取得・利便性向上 ● ODデータ取得による事業者間の利用実態に応じた運賃精算の実現、輸送量の全体最適化 ● デジタルチケット購入・確認時の接触をさけることで、お客さまに安全を提供 ● デジタルチケット有効性の確認を自動化することで、お客さまの利便性向上 	
交通以外のサービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 商業施設・観光施設クーポン提供・販売（交通チケットとのパッケージ販売等） ● 観光・イベント情報提供 ● 行政情報の提供 		
事業 目的	<ul style="list-style-type: none"> ● MaaSによるシームレスな移動の実現の検証 ● 地域住民や来訪者の行動変容の検証 ● 実輸送連携とMaaSを融合させた取り組みの有効性確認 ● 利用データの取得方法と利活用方法の検証 		サービスの拡大 発展的な取り組み <ul style="list-style-type: none"> 駅前のカーシェアスポットの拡大 MaaSとフィジカル空間整備の融合 交通結節点での鉄道・バスの連携 交通サービス以外の生活サービスに関わる事業者の連携拡大・強化 QRを活用したチケット有効性判定の自動化・データの収集・利活用
評価指標			評価指標、目標、測定方法などを記載 <ul style="list-style-type: none"> ● アプリサービスによる公共交通利便性向上：満足度70%以上（アンケート調査） ● デジタルチケットの販売枚数：1,000枚以上（アプリ管理画面より確認） ● 移動総量の増加：「サービスが外出のきっかけとなった人」の割合70%以上（アンケート調査）
今後の方向性			<ul style="list-style-type: none"> ● 実輸送面における乗り換え利便性向上策とMaaSを融合させた取り組みを他のエリアでも拡大していく ● QRコード対象エリアを拡大し、お客さまの利便性を向上させるとともに、利用データの蓄積と活用方法の検討を推進していく

沖縄スマートシフトプロジェクト(沖縄県におけるMaaSの社会実装)

様々な交通モードを実績のあるMaaSアプリ「Myroute」で繋げることやAIオンデマンド交通走行による二次交通へのアクセスを向上させることなどシームレスな移動の実現と交通分散を図り、地域課題を解決する。また非接触・キャッシュレス手続きなど感染症対策による利用者の安心感の醸成やモーダルシフト、EV利用などカーボンニュートラルの取組を行うことで持続可能なモデルを構築する。さらにデジタルの特性を活かし、得られた情報を交通事業および交通以外の事業の行動変容に活用すると共にタイムリー且つ効果的な情報発信をしていくことで周遊性の向上および地域経済の活性化を促進する。

協議会の 構成員	第一交通産業、那覇バス、琉球バス交通、第一マリンサービス、那覇第一交通、オリオン第一交通、沖縄第一交通、鏡原第一交通、てだこ第一交通、美栄第一交通、那覇バスターミナル、沖縄第一モーターズ、OTM、損害保険ジャパン、NTTドコモ、本部町オブザーブ：沖縄県・沖縄総合事務局・那覇市・那覇市観光協会 事業開始時に合流（浦添市・豊見城市・浦添市観光協会・本部町観光協会）	取組イメージ □ 渋滞を回避した観光地への移送 〈ポイント〉港へのアクセスを向上させ、船を用いたシームレスな移送手段の提供及び公共交通機関の活用 ① 那覇空港・泊ふ頭間AIオンデマンド交通の走行（EV乗合タクシー） ② 渡久地港への船移送（非接触・分散・時間創出） ③ 目的地へのラストワンマイル手段の提供（タクシー、レンタカー、カーシェア等） 										
地域課題	〈交通〉慢性的な交通渋滞、公共交通機関への分散、カーボンニュートラル 〈観光〉感染症対策、国内外における観光客数の増大に対するサービス提供 〈観光客〉各交通モードの利便性向上やキャッシュレス決済の要望 〈地域住民〉レンタカーによる事故増大や観光公害（渋滞・ゴミ・違法駐車）	□ ポストコロナでの安心感×便利な観光 〈ポイント〉混雑状況の表示や交通手段多様化による密環境回避と行動変容 ① アプリでのモビリティ及び店舗の混雑率を表示 ② 混雑率や観光情報、インセンティブ収集および回避ルートの確認が可能 ③ 多様な交通手段への連携（オンデマンド交通やシェアサイクル等） 										
事業概要	<table border="1"> <tr> <td>開始時期</td> <td>2022年1月～2022年12月</td> </tr> <tr> <td>エリア</td> <td>那覇市・浦添市・本部町・豊見城市 (のちに西原町・名護市・今帰仁村 他 予定)</td> </tr> <tr> <td>システム</td> <td>トヨタファイナンシャルサービス株式MaaSアプリ「Myroute」</td> </tr> <tr> <td>交通サービス</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● 路線・定期観光バス、船舶、タクシー、鉄道、レンタカー、カーシェア、レンタサイクル等の複合経路検索機能の提供 ● タクシー・船舶・定期観光バス・オンデマンドの予約機能 ● 船舶や路線バスの運行情報・混雑率の表示 ● 路線バス等のデジタルチケットの予約決済機能 ● 空港⇄泊ふ頭(orバスターミナル)間などでの乗合オンデマンド走行と二次交通へのアクセス向上 ● 駐車場事前予約決済機能 ● 交通モードのEV/FCV導入 </td> </tr> <tr> <td>交通以外のサービス</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● イベントや観光情報の配信 ● マルシェ等イベントの開催 ● 飲食店や小売店、観光施設等のクーポン発行 ● 店舗混雑率の表示 ● 災害時の情報発信（多言語サービス利用） </td> </tr> </table>	開始時期	2022年1月～2022年12月	エリア	那覇市・浦添市・本部町・豊見城市 (のちに西原町・名護市・今帰仁村 他 予定)	システム	トヨタファイナンシャルサービス株式MaaSアプリ「Myroute」	交通サービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 路線・定期観光バス、船舶、タクシー、鉄道、レンタカー、カーシェア、レンタサイクル等の複合経路検索機能の提供 ● タクシー・船舶・定期観光バス・オンデマンドの予約機能 ● 船舶や路線バスの運行情報・混雑率の表示 ● 路線バス等のデジタルチケットの予約決済機能 ● 空港⇄泊ふ頭(orバスターミナル)間などでの乗合オンデマンド走行と二次交通へのアクセス向上 ● 駐車場事前予約決済機能 ● 交通モードのEV/FCV導入 	交通以外のサービス	<ul style="list-style-type: none"> ● イベントや観光情報の配信 ● マルシェ等イベントの開催 ● 飲食店や小売店、観光施設等のクーポン発行 ● 店舗混雑率の表示 ● 災害時の情報発信（多言語サービス利用） 	その他、先進技術活用やカーボンニュートラル、外出機会創出、防災減災に資する活動を行う
開始時期	2022年1月～2022年12月											
エリア	那覇市・浦添市・本部町・豊見城市 (のちに西原町・名護市・今帰仁村 他 予定)											
システム	トヨタファイナンシャルサービス株式MaaSアプリ「Myroute」											
交通サービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 路線・定期観光バス、船舶、タクシー、鉄道、レンタカー、カーシェア、レンタサイクル等の複合経路検索機能の提供 ● タクシー・船舶・定期観光バス・オンデマンドの予約機能 ● 船舶や路線バスの運行情報・混雑率の表示 ● 路線バス等のデジタルチケットの予約決済機能 ● 空港⇄泊ふ頭(orバスターミナル)間などでの乗合オンデマンド走行と二次交通へのアクセス向上 ● 駐車場事前予約決済機能 ● 交通モードのEV/FCV導入 											
交通以外のサービス	<ul style="list-style-type: none"> ● イベントや観光情報の配信 ● マルシェ等イベントの開催 ● 飲食店や小売店、観光施設等のクーポン発行 ● 店舗混雑率の表示 ● 災害時の情報発信（多言語サービス利用） 											
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 大動脈である国道58号線の渋滞解消と多様な交通モードへの分散 ● 各対象市町村が都市計画・観光で目指すものの一助をMaaSで提供 ● 利便性を向上させシームレスな移動の実現と時間創出による体験追加 ● 観光客の増大などポストコロナを見据えた移動手段の確立 ● モーダルシフトやEV利用によるCO2排出量の削減 ● 移動データ活用による地域経済の活性化 	評価指標 <ul style="list-style-type: none"> ● サイトアクセス数 ● 各モビリティ乗車率 ● 各デジタルチケット販売枚数 ● アプリ経由予約数 ● アプリ利用満足度 ● 周遊性・滞在時間の拡大した結果、サービスを追加した割合 ● MaaSをきっかけに公共交通を選択した割合 今後の方向性 <ul style="list-style-type: none"> ● 自治体や観光協会、地場企業等との連携を強化し、国内外の観光客がもたらす利便を吸収、効率化することで周遊性を向上させ、地域経済・観光の隆盛を促進する。そのために交通・サービスの充実や連携を強化し、一体となったサービスとして範囲を拡大・提供していく。 ● 既存PFとの相互連携や新モビリティの採用も積極的に行うなど、地域の要望を捉え、地域で使われる仕組みを構築する。 										

地域課題解決に寄与する為のあいのりタクシーサービスと観光客向けモバイルチケットを連携融合させたMaaS実証事業

あいのりタクシーの本格運用に向けての持続可能性を高める取組として、事前集客割引、事後集客、ダイナミック時刻表、ダイナミックプライシングを実証する。また、経路検索アプリ+モバイルチケットと連携したサブスクリプション・各種企画チケットもあいのりタクシーとの連携を行い、収益性の効果検証を実施する。

地域にもたらす変化としては、①高齢者の外出機会を創出②土地勘がない観光客の周遊③マイカー、レンタカーによる渋滞の回避が想定されます。

協議会の構成員	【幹事】ジョルダン株式会社、一般財団法人 沖縄県タクシーハイヤー協会、一般財団法人 宮古島観光協会、株式会社イイガ、株式会社エクトラ、株式会社オリエンタルコンサルタンツ	<h3>取組イメージ</h3>																										
地域課題	<ul style="list-style-type: none"> ラストマイル交通の不足等公共交通の利便性の低さ 観光客の増加による需要増加やレンタカー利用増による交通量の増大 路線バスの便数の少なさからくる公共交通の供給不足 コロナ後に観光客が戻った際のタクシー乗務員の減少によるタクシーサービスの供給不足 																											
事業概要	サービス開始時期	令和3年12月～令和4年2月																										
	エリア	沖縄県宮古島市内全域																										
	MaaSシステム	<ul style="list-style-type: none"> 乗換案内&「あいのりタクシー」連携 MaaSアプリ「がんずうあいのりタクシー」を独自に構築 																										
	交通サービス	<ul style="list-style-type: none"> 乗合型オンデマンド交通「がんずうあいのりタクシー」運行 「がんずうあいのりタクシー」予約・決済機能の提供(高齢者向けに架電やKIOSK端末からの予約も可能) 路線バスと「あいのりタクシー」のデジタルチケット企画切符販売 宮古島外在住の方が、宮古島に住む家族の「がんずうあいのりタクシー」運賃を負担できるサービス「みまもり家族運賃ギフトサービス」や、家族で利用すると運賃の割引を受けられる家族割、親子割サービスの提供 乗換案内による観光客向けモバイルチケット販売 																										
事業目的	交通以外のサービス	<ul style="list-style-type: none"> 「がんずうあいのりタクシー」のチケットと観光施設のチケット飲食店の食事券等が複合したデジタルの企画乗車券の販売 店舗等のデジタルクーポンの配信 																										
	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の外出のきっかけとなる 土地勘がない観光客の周遊を高められる マイカー、レンタカーによる渋滞の回避 サブスクリプションチケット販売での定収入 ワーケーションでの利用での周遊手段 	<h3>評価指標</h3> <table border="1"> <thead> <tr> <th>カテゴリ</th> <th>内容</th> <th>定量指標</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">地域課題の解決貢献度を測る指標</td> <td>あいのりタクシー利用における移動利便性の向上</td> <td>あいのりタクシー利用者数</td> <td>延べ1000名</td> </tr> <tr> <td>デジタルチケットの利用</td> <td>デジタルチケット利用数</td> <td>延べ1000枚</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">施策の効果を測る指標</td> <td>あいのりタクシーアプリダウンロード数</td> <td>アプリダウンロード数</td> <td>2000DL</td> </tr> <tr> <td>乗換案内アプリ上での対象領域検索件数</td> <td>宮古島域内検索件数</td> <td>50000回</td> </tr> <tr> <td>プロセス</td> <td>サービス準備</td> <td>提供するサービスの認知度</td> <td>利用者アンケートによるサービス認知度 30%以上</td> </tr> <tr> <td>インパクト</td> <td>行動変容</td> <td>利用者の行動や周辺施設への立寄り頻度の変化</td> <td>提供したサービスが外出のきっかけとなった人の割合 50%</td> </tr> </tbody> </table>		カテゴリ	内容	定量指標	目標値	地域課題の解決貢献度を測る指標	あいのりタクシー利用における移動利便性の向上	あいのりタクシー利用者数	延べ1000名	デジタルチケットの利用	デジタルチケット利用数	延べ1000枚	施策の効果を測る指標	あいのりタクシーアプリダウンロード数	アプリダウンロード数	2000DL	乗換案内アプリ上での対象領域検索件数	宮古島域内検索件数	50000回	プロセス	サービス準備	提供するサービスの認知度	利用者アンケートによるサービス認知度 30%以上	インパクト	行動変容	利用者の行動や周辺施設への立寄り頻度の変化
カテゴリ	内容	定量指標	目標値																									
地域課題の解決貢献度を測る指標	あいのりタクシー利用における移動利便性の向上	あいのりタクシー利用者数	延べ1000名																									
	デジタルチケットの利用	デジタルチケット利用数	延べ1000枚																									
施策の効果を測る指標	あいのりタクシーアプリダウンロード数	アプリダウンロード数	2000DL																									
	乗換案内アプリ上での対象領域検索件数	宮古島域内検索件数	50000回																									
プロセス	サービス準備	提供するサービスの認知度	利用者アンケートによるサービス認知度 30%以上																									
インパクト	行動変容	利用者の行動や周辺施設への立寄り頻度の変化	提供したサービスが外出のきっかけとなった人の割合 50%																									
		<h3>今後の方向性</h3> <ul style="list-style-type: none"> 事前集客のための目的別の企画便の追加検討 あいのり便利用インセンティブ付与(ダイナミックプライシング) 事後集客のためのメッセージング 拠点でのダイナミック時刻表の表示の拡大 																										